

第2次

かつらぎ町地域福祉計画・地域福祉活動計画

平成31年3月

かつらぎ町

かつらぎ町社会福祉協議会

はじめに

近年、人口の減少や少子高齢化、核家族化の進行に伴い、ライフスタイルの変化や価値観の多様化が生じ、地域での関わりあいや住民同士での交流が希薄化してきているといわれています。

このような中で、かつらぎ町がすべての住民が安心して暮らし続けるまちとなるためには、地域で生活を営む一人ひとりの方が互いにつながり合い、時には誰かを支え、また支えられるまちづくりを進めていくことが必要となります。



かつらぎ町においては、これまで高齢者福祉計画・介護保険事業計画や、障害者基本計画・障害福祉計画など、対象者ごとの個別の計画を策定して保健福祉サービスの充実に努めてまいりましたが、より総合的に福祉施策を進めていくために、平成25年度に「第1次かつらぎ町地域福祉計画を策定」し、「いきいきと活発でなかよく支え合いをモットーとした文化と伝統のまち」を基本理念として地域福祉の推進を図ってまいりました。

このたび、前計画の成果や新たな課題をふまえ、今後の様々な福祉ニーズに対応し、より効果的な地域福祉の推進を図るために、「第2次かつらぎ町地域福祉計画」を策定しました。

本計画の基本理念である「いきいきと活発でなかよく支え合いをモットーとした文化と伝統のまち」を実現するため、行政とかつらぎ町の住民の皆様、かつらぎ町社会福祉協議会、民生委員・児童委員、地域で活動する様々な活動団体などと協働しながら、互いに支え合い、いきいきと暮らせるまちづくりに努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、熱心にご議論いただきました策定委員の皆様方をはじめとして、住民アンケート調査や地区懇談会などにおいて、貴重なご意見と多くのご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成31年3月

かつらぎ町長 井本 泰造

はじめに

近年、急速化する少子高齢化の進行や、人口の減少、核家族の増加や過疎化に加え、地域内での人と人とのつながりの希薄化など、社会環境は大きく変化しています。このような中で、様々な生活課題を抱える人々が増加しつつあり、地域社会は公的制度による支援だけでは多種多様化する地域住民のニーズに応えることが難しくなっております。

こうした状況に対応していくためには、地域住民と福祉関係者が互いに協働しながら、自主的に地域活動やボランティア活動などに参画できるような仕組みをつくっていく必要があります。

こうしたことから、かつらぎ町社会福祉協議会では、平成31年度から5か年を計画期間とする「第2次かつらぎ町地域福祉活動計画」を策定しました。

本計画を推進していくためには、地域での支え合いを通して地域の強みを活かしていくことが重要であり、また、かつらぎ町に暮らすすべての住民が、サービスなどを利用する地域福祉の受け手となるだけでなく、地域福祉の担い手としても活躍できるような仕組みをつくっていくことも重要であると考えています。

本計画を進めていくためには、これまで以上に地域の皆さまとともに取り組んでいきたいと考えておりますので、さらなるご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたって、住民アンケート調査や地区懇談会などに多大なご協力をいただきました多くの住民の皆さま、また貴重なご意見・ご提言をいただきました関係者の皆さまに、心より厚くお礼申し上げます。



平成31年3月

社会福祉法人 かつらぎ町社会福祉協議会

会長 大浦達雄